

第2回 岳北地域高校の魅力づくり研究協議会 会議録概要

- 1 開催日時 令和2年11月9日(月) 午前10時～10時40分
- 2 場 所 飯山市役所4階 全員協議会室
- 3 出席者
- | | | | |
|------|--------------|----|-----|
| 部会長 | 飯山市長 | 足立 | 正則 |
| 副部会長 | 木島平村長 | 日臺 | 正博 |
| 副部会長 | 飯山商工会議所会頭 | 伊東 | 博幸 |
| | 飯山市教育長 | 長瀬 | 哲 |
| | 木島平村教育長 | 小林 | 弘 |
| | 野沢温泉村教育長職務代理 | 小嶋 | 日出子 |
| | 栄村教育長 | 石澤 | 清人 |
| | 下高井農林高校同窓会長 | 村松 | 剛志 |
| | 飯水中学校町会長 | 山田 | 晃 |
| | 中野・下高井中学校長会長 | 伊賀 | 雅志 |
| | 飯水PTA連合会長 | 吉越 | 伸吾 |
| | 下高井農林高校PTA会長 | 上埜 | 曉子 |
| | 飯山高等学校長 | 滝澤 | 崇 |
| | 高校再編推進室 | 上原 | 一善 |
| 事務局 | 飯山市 教育部長 | 常田 | 新司 |
| | 学校教育係長 | 大口 | なおみ |
| | 学校教育係 | 佐藤 | 優季子 |
| | 木島平村 子育て支援課長 | 島崎 | かおり |
| | 子育て支援係長 | 武田 | 幸一 |

4 会議の経過及び発言

1 開 会

教育部長)

おはようございます。それでは定刻になりましたので只今から、第2回岳北地域高校の魅力づくり研究協議会をはじめたいと思います。

始めに欠席の報告ですが、野沢温泉村の富井村長様、同じく岩上教育長様が欠席ということで、代理として教育長職務代理の小嶋様においでいただいております。その他、栄村の宮川村長様、飯山高校同窓会長の宮本様、中高PTA連合会木島平中学校PTA会長竹内様、飯山高校PTA会長坂東様が欠席とご連絡がありましたのでよろしくお願いします。それでは次第にそって進めさせていただきます。それではあいさつということで会長願います。

2 あいさつ

足立会長)

おはようございます。皆様大変お忙しいところ第2回研究協議会ということでお集まりいただきありがとうございます。それぞれの部会で検討していただいている訳でございますが、今日はその中間報告ということでそれぞれ情報を寄せ合って確認し、今後につなげていただきたいと思います。私も資料を拝見したが、下高井農林高校部会はかなり具体的なご意見が出ていると感じた訳でございます。それから飯山高校部会でございますが、様々のご意見もあった訳でございますが、もう1つ国の方で大学入試、受験の方式が大きく変わろうとしているという大きな流れ等についてもご意見がありまして、いろいろ課題があると思った訳でございます。今日それぞれ中間報告をしていただきまして、今後どうすべきかご意見を賜りたいと思いますのでよろしくお願いします。以上です。

3 会議事項

(1) 各高校部会における研究協議の中間報告

事務局から説明

足立会長)

別冊で資料をお配りしてありますが、2022年から高校の学習指導要領が変わり新しくなります。教育長説明をお願いします。

飯山市教育長)

私の読んでいた東洋経済という雑誌に出ていたのですが、高校教育のこれからの現状や流れについて分かりやすく書いてありました。高校教育の現場は携わっている先生方でないと分からない部分があります。通信高校まで広くふれております。1番は私たちがうけていた時代と将来の展望が大きく変わってきていると一読していただければ分かります。ぜひまた、飯山高校、下高井農林高校を考える際に参考にしていただければありがたいと思います。特にここに出ているのは日本でも最も先進的な実践活動に取り組んでいる学校が多いので、長野県全体から見たらえらいことやっているのだなと実感も持たれると思いますが、飯山高校、下高井農林高校もお金と手間暇をかければこういうことは可能だご理解いただけたと思いますので、ぜひ参考資料として使っていただければありがたいと思います。

足立会長)

どういう方向で見直しされているかもお話ししたいだと思います。

飯山市教育長)

滝澤先生や農林の校長先生からもぜひ補足説明していただければと思います。

それでは資料の2022年からの学習指導要領を改訂と大きな項目があります。小中は現在、既に改定されて取り組んでいるわけですが、小中の流れを汲んで高校、大学入試まで及んでいるわけです。小中の場合は1番大きく変わっているのは日本の国自体がこれから日本の進むべき方向として、世界で通用する人材をまず育てたい。そしてこれからの時代がどういう時代になるかということ、AIが出てきて今までのような知識偏重、一斉授業で頭に詰め込むようなそういう教育はもう駄目だというふうに国は考えている。アクティブラーニングに見られるような、答えのない課題に取り組む人材、あるいはAIで取り組んでも駄目な部分に対応できる人材の育成ということが大きな流れとして今の日本の教育改革の中で進められています。小中でICT教育の充実、アクティブラーニングで見られるような今までと違った教育、それが高校へも及んできているということで、高校でも大きな変化が求められているのではないかと思います。その具体的なことは教科の再編

成、更に普通高校の再編成です。普通高校の再編成というのは、細かい内容があるが普通高校が今1番変革を求められている。その普通高校が地域でどういう存在意義を求められているのか、あるいは地域から何を要求されているのかというのを十分理解しながら普通高校を改革していかなければいけないという大きな流れになっているというふうに理解しています。もう1つ普通高校の場合は大学入試が大幅に変わって、そこにも出ていますように、大きな3つの流れがございます。ですから、普通高校に進んだ生徒が大学入試の3つの流れに対応していくには、高校現場でこれに対応できるような指導をしていかなければいけないということで、高校の先生方にとっては非常に大きく変わる時期だと思います。もう1つは例えば英語も小学校3年生から取り入れられていまして、高校では授業自体が英語で全てをやらなければいけないというレベルまで来ています。こうした中で地元の小中でしっかり教育をしてある一定のレベルまで小中学生を育てて、飯山高校、下高井農林高校へ送り込まないと高校現場だけに要求してはならない部分もあると実感しています。長野県の小中のレベルでも学力の補償、学力の充実ということが高校教育の改革に当然つながると理解しています。飯水、岳北地域でも小中学生の学力の向上は大きな意味を持っていると思います。それがまた高校教育、改革に対する教育現場の、特に義務教育現場の義務ではないかと理解しています。それから細かい点がある訳でございますが、ICT教育は確かにコロナ政策の影響で一気に機器の充実が具体的に進んできております。そういう時に長野県全体が特に先生方がそれに対応できるだけの授業力、構成力そういうものをこれからどうやって付けて生徒の授業改革に活かしていくかという先生方の大きな課題もあると思います。非常にいろいろな課題がありますが、高校教育の場合は大きく変わっているのも現場の先生方の意識改革をどういうふうに進めていくか校長先生方としては大きな課題となっているのではないかと拝察を申し上げます。これをやらなければ、飯山の子供も残されて、ますます厳しい状況になるのではないかと理解しています。いずれにしても、高校教育が大きく変わる時期に来ているということを大人として認識してバックアップできる点はバックアップ、お願いすべき点はお願いをしてやっていかなければいけない、そういう場所でもあると理解しています。非常に出しっぱった言い方をした部分もあると思いますが、すべて子どものためですのでご容赦願いたいと思います。以上です。

足立会長)

ありがとうございました。それぞれ中間報告について説明をいただいた訳でございますが、皆さんの方で何か追加で補足やそれぞれの高校部会でも合わせてでも結構ですのでご意見等ございましたらお願いします。日墓村長の方で部会長として何かありましたらお願いします。

日墓副会長)

今までの経過については、今説明のあった通りですが、また今後2回3回の部会を計画していますが、その中では具体的に下高井農林高校と地域が関わった取り組みについて、新たな取り組みも含め検討していきたいというふうに考えています。その中には高校だけでなく、周辺の関係する市町村が連携をして行う事業として、予算的な措置についてもある程度求めていくようなことも出てくると思いますので、あらかじめそういうことも念頭に置いていただければと思います。それから、当然予算だけではなくて、人的な支援であるとかそういう物も具体的な事業を展開していく上でいただければと思いますので、よろしくお願いします。

足立会長)

ありがとうございました。他に皆様方でもうでしょうか。

農林高校部会はかなり具体的な部分まで詰めて進んでいるように思いますが。

よろしいですか。これでそれぞれの部会を開催しまして、具体的な課題等が整理されてきたのではないかと思います。それから今長瀬教育長の方から話もありましたが、高校教育そのものも大きく変わろうとしているということで、そういうことも踏まえて、今後の

地域の高校教育の在り方という物を県教委とともに進めていく必要があるのではないかと思います。

この中に反映されていないようなご意見等もございましたらお願いします。

よろしいですか。かなり部会で整理されて具体的に検討が進んできたなと思います。

(2) 今後の取り組みについて

事務局から説明

足立会長)

今、事務局から説明があったとおりでございます。再度、部会で検討いただき、今年度中にはこれまでの意見を取りまとめて提案書の策定をしまして、県の教育委員会に意見・提案書を提出していきたいというふうに思います。引き続き令和3年度も検討を進めるということでございますが令和2年度でまとまったものを一度提案するというところでございます。

農林高校部会はかなり段取りが進められていますが、このような形で進めていくとすぐ取り組めそうなこともありますし、県の方へ要望していかなければならない検討もある訳でございますが、課題を整理し、進められるものについては進めていき、県へお願いするものはしっかりお願いしていく、長期的に取り組むものは長期的に取り組んでいくというようなアプローチが良いのではないかと思います。

皆さんの方で、今後の進め方、全体とおしてでもご意見ございますか。

副会長どうですか。

伊東副会長)

教育については教育者ではないので大変な部分が沢山ある。将来的に高校両行残すという話と、子ども達がどう思っているのか把握しながら進めていかないと、親達だけで進めても、魅力ある高校づくりにつながっていくのか、子ども達が望む高校につながっていくのか、その辺も加味しながらやっていかないと議論が進んでいくだけで、子どもの声をどう反映させられるのかその辺も考えながらすすめていかねばと思います。教育者の方は日頃から子ども達に接しているので分かると思うが、我々は子ども達の気持ちは分からない。今後も勉強しながら子ども達の本当の心を知ればいいかなというふうに思っています。以上です。

足立会長)

飯山高校部会の中でも中学3年生や在校生の意見を吸い上げて、また現場の先生方の意見を吸い上げていく必要があるのではないかという意見もございました。その点も踏まえて、それぞれの部会で検討いければと思います。

他にございますか。

県教委の方で何かございましたらお願いします。

上原主任指導主事)

ぜひ参考までのところで、新しい時代の高等学校教育の在り方ワーキンググループというのが新時代に対応した高校教育の在り方という論点整理を出していますので、飯山高校部会と下高井農林高校部会で検討していただいていることがまさにこの普通科の改革と専門科の改革の概要と合致していくところが多くございまして、そんなところも資料として出せばと思いますので、その辺も念頭に置いていただきながら検討いただければと思います。

(3) その他

足立会長)

その他どうですか。

県からのお話もありましたが、資料等も参考にいただき、それぞれの部会でさらに今日の全体会の報告の上に進めていっていただければと思います。

皆さんの方で何か意見ありますか。なければ、会議事項についてはこれで締めたいと思います。それでは事務局お願いします。

5 閉会

教育部長)

両校共通の課題がございますが、それにつきましては事務局の木島平、飯山市でよく調整しながら検討させていただきたいと思います。普通高校、専門高校で違う部分はそれぞれの部会でと思っておりますのでよろしくお願いします。

それでは、以上をもちまして第2回岳北地域高校の魅力づくり研究協議会を終了させていただきます。ありがとうございました。